

竹原議員（自民議連）

令和4年2月24日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）「利他の心を育む」教育の推進について

本県では、道徳性を育む教育に取り組んでいると思っているが、「利他の心を育む」教育に一層力をいれてもらいたいと考えるが、教育長の所見と実現に向けた方策を伺う。

（答）

学校におきましては、自立した人間として、他者と共に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目指して、道徳科を中心に、教育活動全体を通じて、道徳教育を行っております。

具体的には、各学校では、道徳科において、思いやりについて考えを深める際に、家での手伝いや地域での清掃ボランティアなどを、家庭や地域での実践と結び付けることにより、児童生徒一人一人に、進んで他者のために行動しようとする心情を育てております。

この外、総合的な学習の時間の活用により、例えば、坂町立小屋浦小学校では、地域の高齢者に早めの避難を促すメッセージを添えたハザードマップを作成するなど、他者を思いやり、行動する心を育てております。

また、広島商業高等学校では、商業研究部の活動におきまして、コロナ禍で大量廃棄される花を定期・定額販売するシステムを発案し、花業界の活性化に取り組むなど、他者と共によりよく生きる、いわゆる「三方よし」につながる社会貢献の精神を育てております。

県教育委員会といたしましては、こうした「利他の心を育む」様々な取組を、県内の全ての校種に幅広く紹介する中で、次代を担う児童生徒に自他の敬愛と協力を重んずる態度を育む教育活動に一層、力を尽くしてまいります。